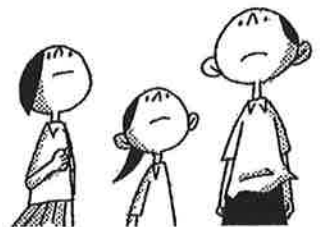




今日、阪神・淡路大震災の当時の状況を聞き、災害の恐さや、備えの大切さを感じました。僕は地震を経験したといっても震度1や2などの弱い揺れ、本当の恐さというのを体験したことはありません。しかし、地震や他の災害でも十分に危険で、命を落とすかもしれない。ここ最近だと東京や和歌山での地震。東北の方だと大雪、夏は大雨による洪水。自分は安全ではないという危機意識が芽生えました。阪神・淡路大震災のドラマを見た時、特に家具が倒れる所は、自分の家にも普通に起こりそうでゾッとしました。これから、南海トラフ地震によって、被害が出るかもしれないとなると、家具の固定や物の整理などの災害への備えは可能な限りしておきたいと思いました。また、改めて家族と避難の話はしておこうと思いました。万が一、全員が違う場所にいた時や、避難時の持ち物など、油断してる部分もまだまだあると思います。「万が一…」の考えを常に持ち、備えを確認する意識を身につけていこうと思いました。



584  
11/6434  
57  
93  
88  
54  
44  
70

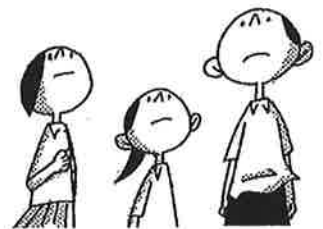


最初は震災は何だろう、と思いながら  
1月7日で講演会で、神戸新聞の  
方の話を聞いて、震災の事を学びました。  
今年で、27年になって、東あおじて、震度7出た年と  
聞いて、ビックリしました。あと、昨日、流れていた津  
波けい報が0:15(深夜)の時に出た、というのビックリ  
しました。

1997年に、平成の元号が発表して、オプス阪神の  
ちが、6434人(明石では1人)、と約584人差、という  
のがスゴいと思いました。

で、新聞本誌の中がスゴくて、桜井しょうさん主演  
「神戸新聞の7日間」は、神戸新聞記者の目を通  
して、震災15年前の夜だった。2010年1月16日のフジ  
テレビ(関西テレビ)系で放映された、という  
のがスゴいと感じ、2016年1月16日で、再放映さ  
れた、というのがビックリしました。

令和元年東日本台風(2019年10月12日)で、  
同日朝刊発刊限ワシ河川142所の堤防  
が決壊して、こおれた。

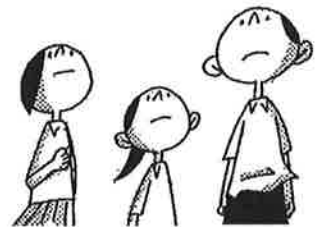




自分は、阪神・淡路大震災を体験してないんだけど、この自震で“無くなった物・人など”は忘れないようにしたいと思いました。

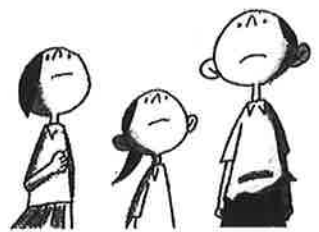
いつ、どこで、大きな地震が起こるかわからないから、もっと地震や自然災害に対してもと備えをしっかりとしていかなきゃいけないとゆうことがわかりました。

午前5時46分に阪神淡路大地震が起きて、京都新聞と協力して新聞を出した神戸新聞はすごいと思いました。自分だったら自分の命を守るのに精一杯で新聞の記事を考えるなんて絶対に無理だと思うから、神戸新聞はすごいと思いました。これから先災害は無くならないと思うから三好さんがいっていたように「災害は繰り返す 備えにゴールはない」という言葉の通りに、備えに備えまわっていきたいと思います。





今回の震災講演会を聞いて、私は改めて命の尊さを学びました。阪神・淡路大震災で亡くなった6434人の方々や、その御貴族の方など、たった一度の大きな災害で苦しい思いや悲しい思いをした人はたくさんいるのだなと実感しました。今まで生きてきた中で大人や色々な人に阪神・淡路大震災に限らず、様々な自然災害についての話を聞いたり、実際に体験したり、テレビやネット等で見てきたたびに「大変だな」と思っていました。しかし、私はそう思うだけで何か対策をしたり行動をすることまでしてきませんでした。「まだ未成年の私に出来ることは限られている。親や政府の大人にまかせておけば大丈夫か」と思っていたら、何か特別なことをしようとは思っていませんでした。しかし、今回の震災講演会や近年多発している自然災害をまのあたりにして、少しずつ意識が変わってきました。「限られているけど、今の私に出来ることは必ずある」と思い始め、出来ることは何かを意識するようになりました。意識の変え方を後押しして下さい。三好先生にはとても感謝しています。改めてこの講演会で様々な事を学べてとても嬉しく思います。ありがとうございました。





今日の講演会を聞いて、あらためて地震などの自然

災害はこわいものだなと思いました。自然災害はいつ

どこどこ起こるかもわからないから家族と

話し合い、対策していきたいです。幼稚園・小学校・中学校

で災害のことや、27年前の阪神・淡路大震災のことを何回

勉強したけど、いつ見てもすごく怖いものだと思います。

今回は映像で実際の現場を見て、映像で見てもすごく

怖かったのに、実際に体験した人はもっと怖かったらと思う

と思いました。今、地球温暖化のえいきょうごさらに災害が

多くなるといって、とても大変になります。未来では地球温暖

化が進み、地球がなくなるといったり、作物が作れなくなると

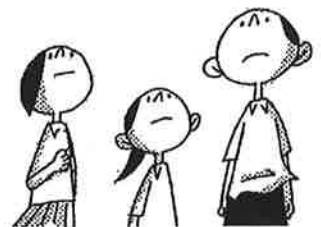
大変だし、戦争などももうおきてはいけないので、今のうちから

地球温暖化をとめていけるようにしたいです。

いつ、何が起こってもいっように、そなえをし、がりし地域の

方々と協力して、自分の命は自分で守れるようにしていきたい

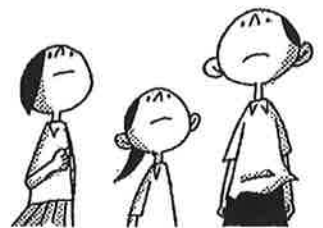
です。





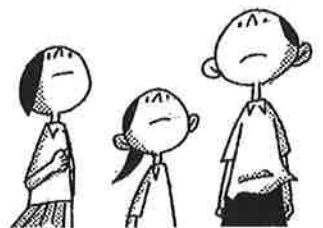


実際に自分が体験したわけではないけど、  
今日、震災講演会を聞いて、自分が生きてる時  
に大きな地震はおきてほしくないと思った。阪神・淡路大  
震災から27年がたつけど、体験していなくてもこの事を  
忘れずに生きていくことが大切だと思いました。三好次  
の話にもあったように「災害から学ぶ事を次にいかす」という  
事は大切で、阪神・淡路大震災の事を学んで、次、大きな地  
震がおきる前にどんな対策ができるのか、どのような  
備えをしておけばいいのかということも改めて考える必要  
があると思いました。地震のような自然災害はいつ  
起こるか分からないし、いつ起きてもおかしくないような  
状況の中で、災害に対する知識を持っておく必要がある  
と思いました。今日の震災講演会を通して、地震  
の災害への備えについてもう一度家族と話し合い、自  
分の命・身近な人の命を守るために何しようとしたらいいか  
考えていきたい。





震災講演会を聞き、自然災害はこわいものだと  
改めて思いました。特に地震は、いつどこで  
起きるのかほとんど予測できず、たくさんの方が  
亡くなってしまつて分かりました。でも、普段から食料や水を備えて  
いたり、避難訓練をしたりすることによって被害は小さくできると  
思います。だから、本当に地震が起きたら、冷静に判断をして  
自分の命は自分で守れるようになるといけないと思いました。  
また、新聞記者の方は「どんな状況であっても読者に正しい  
情報を伝える」という思いがとても強いと分かりました。だから、  
神戸新聞の本社が全壊してしまつても取材を続け、新聞を作ること  
ができたと思います。被害の状況だけでなく、読者の意見を取り  
入れたりして記事を書いていたと知ることができました。  
いろいろな写真や動画を見て、阪神・淡路大震災はたくさんの人に  
影響を与えたとても大きな地震だと分かりました。そして、このような  
大きな自然災害は二度と起きてほしくないと思いました。  
私たちは、大きな地震は経験したことがないけれど、「今日学んだ」  
ことを家族に伝えたりして、語り継いでいき、このようなことが  
あったということと絶対に忘れてはいけな  
いと思いました。





今日の3・4時間目、震災講演会がありました。

担当の三好さんは震災について詳しく解説してくれました。1995年1月17日午前5時46分に起きた阪神淡路大震災の出来事を中心に震災の怖さや非惨さについて学びました。特に印象に残ったのは「神戸新聞の7日間」という映像を見た事です。当たり前が当たり前でなくなる瞬間、

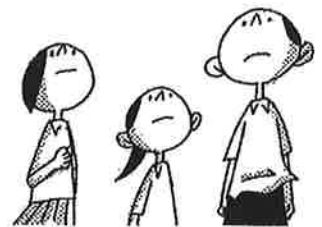
そしてその地震による被害などがこの映像を通して見られました。

僕はその映像を見て鳥肌がたつたし、震災の恐ろしさ、強さを学びました。また、三好さんがおっしゃっていた「自分達がどうにかしなければならぬ」という言葉は、非常に重い言葉のように思えました。

学校生活と比較できるからです。「他人に頼っているばかりでは自分の力は成長しない。一人一人が積極的に物事を行う事が大切」と誰かに言われた事があります。学校生活で行っている事は、いざ災害が起きたという時に役立つと思います。例えば、その行いが間違っても周りの人を助け事ができる、と自分自身思っています。

過去に学んだ事を生かす「温故知新」という諺があります。これは震災の時、大きく関係します。例えば、2011年3月11日に起こった東日本大震災。予想していた波が思ったより大き、堤防を越えられ津波が走ってしまつた。ならば、同じ事を繰り返さないために

堤防の強化を行う必要があると考える。このように、「過去から学んで今後に生かす」という事が現在世界中に求められていると思います。

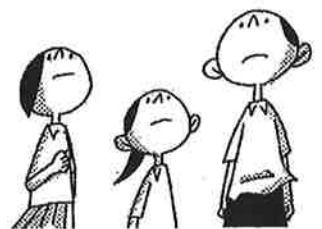


三好さんの説明を通して色々な事を学ぶ事ができました。本当に有り難うございました！





今回の講演会では、1.17の恐ろしさをふたたび  
実感しました。あの大地震でせくなつた  
人々やその家族、直接関わったことはな...  
すが、同じ土地に住む、同じ世界に住む以上、関係のない  
ことではな...と思います。もし自分に起つたら、自分の友達  
や家族が同じようになつたら、そう考へながら、話を聞いて  
いました。まず、講演中に、講習の先生は、時々質問して  
いました。死者の数や場所など、簡単そんな質問でしたが  
いせ聞かれても分からないもので、27年という年月で  
伝わるべきものもうすれ、関心もちくなるものなのだと  
実感しました。やはり、この思ひはもつと伝わるべきだと  
思いました。忘れてはならない事として伝えていくことが大切  
だと先生は言っていました。なので、私ももつと関心をたか  
めるべきだと考へました。記者は、いち早く多くの人に情報  
を伝えなければいけな...ある意味ライフラインでもあるの  
だと思いました。そして、その仕事をする方々には感謝しなけ  
ればならないとも思いました。私はこのことについて  
さらに知識を深めて、重く考へて、日々  
の大切さを実感していきたく思いまし  
た。勉強になりました。

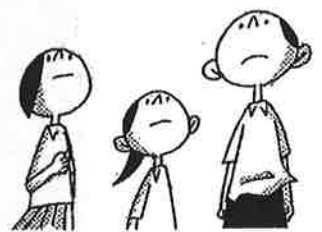




私は、今日の震災講演会でたくさんのことを知れました。今日は、阪神・淡路大震災をメインで話を聞いたけど、震災について深く考えた時間になったと思います。

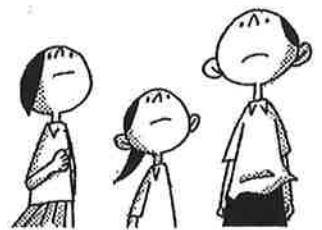
阪神・淡路大震災は27年前の今日と同じ1月17日に起こりました。そのときの体験を直接聞けて本当に良かったです。この震災での死者は6434人、そのうち明石では11人の方がせくなっただろうです。死者の多さからもとても大きな地震だったということが分かります。そして、この地震を伝える神戸新聞の役割はとても大きなものだったと思います。地震の情報を伝えるのはもちろん、被災者の方々に少しでも安心させるような新聞を作っていたとは知りませんでした。

私は、今日で阪神・淡路大震災についてたくさんのことを知れました。そして、この大地震の裏では神戸新聞社の方々も世の中の人のためにとても頑張っていたと分かりました。



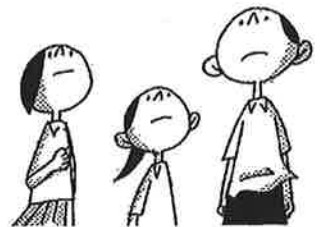


私は毎年この日になったら、震災のことを考えていたけど、今日は、詳しく震災について聞いて、本当に大変で苦しい思い・悲しい思いをした人がたくさん居たんだなと思いました。私は、まだ大きな震災を経験したことがありません。でも、今日のお話で、今私達に出来ることがあるということが知れたので、今日から行っていこうと思います。いつ起こるか分からないのは、こわいけれど、今日教えてもらったことを活せたらいいなと思います。震災があっても新聞を出し続けるのがすごいなと思いました。新聞を作るのがすごく大変だということも前回教えてもらって、今回震災でも出すということを知って本当にすごいなと思いました。ドラマで、その時のことを分かりやすくしていてすごく見やすかったです。続きがまた見たいなと思いました。私が一番心に残っているのは、よくある質問の2番です。今聞いただけで私も悲しくなるけど、知り合いが犠牲になってしまうのは、本当に苦しいと思うし、悲しいと思うけど、その人の分まで生きるという気持ちでがんばってほしいなと思います。私も強く生きていきたいと思いました。本当に、改めて震災のことを詳しく知れて良かったです。今日は、ありがとうございました。





震災講演会を聞いて、自分はこれから防災をし、かりしていければなと思いました。今から地震が来た時を考えて行動しておくことにより、後が楽になって自分だけでなく周りの人の命を救うことに繋がると思いました。神戸新聞社やそれ以外の会社でも地震や火災があった時にすぐその現場に行き、写真をとったり、取材などがすぐできるということほとてもすごいことだなと思いました。自分がもし新聞会社の人だとしても自分がどうするかばかり考えて新聞の記事のことなんて頭のスミにもないと思います。他にも兵庫、神戸のなくなった人数やどんな災害があったのが分かることにより、身近でも地震などが起きる可能性を考えていきたいなと思いました。実際、自分たちが大きな災害にあったことがなくて、ニュースや新聞を見てもただ見るだけだったり聞いて終わりみたいになっていたけど三好さんの話、映像を見ることにより地震、津波の恐ろしさが身にしみて感じることができました。こういった勉強を通して将来自分たちが何ができるのかななどをよく考えていきたいなと思いました。

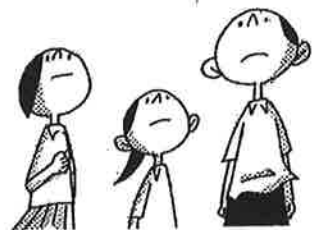




私は、生まれてからまだ大きな地震を経験  
したことがなくて、実際どんな感じなのかは  
わからないけど、今日、講演会を聞いて、絶対に  
忘れてはいけないと思いました。当時被災した  
人たちは、本当につらくて、寒く、かわいそうをしてい  
たことを知りました。令和になって災害は減っていき  
ゃ、これからもういつ起こるかわからないので、過去の災害  
からより多くのことを学んで、大人になっても備えを  
おと続けたいと思いました。

また、人々の助け合いも大切だと気がよみました。自分の  
住んでいる家、地域がもしこわれてしまったら、私は  
何かでできるのか、地域の人と、どう関わり合って協力して  
復興させていくか、よく考えたいです。

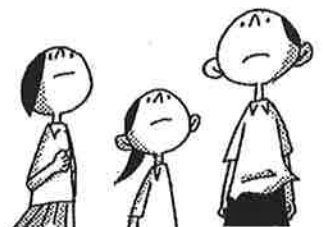
過去にどんな震災(災害)があったのか、私に  
伝えていきたいです。





今回の震災講演会では、阪神・淡路大震災がおきた時の神戸新聞社の人たちの様子や、たり行動など教えてもらい、そんな時どのようにして新聞を届けられたかや他の県の新聞社と協力している人などお話をしました。また話を聞かに行くと、たりする時写真をとったり、自分のプライベートの時間も急になくして仕事をしていてすごいなと思いました。

コロナ禍の今避難所の運営で、たり、どんなものをプラスで持って行けばいいかなど考えたこともなかったことなどを教えていただきました。またお父さんの悲しかった過去を聞いてもらったりして今もし地震がおきたら自分が何をしなければいけないかなど考えました。中学生にしかできないこと、中学生以下からできたことなどもしその時は考えて行動できるようにしたいと思いました。







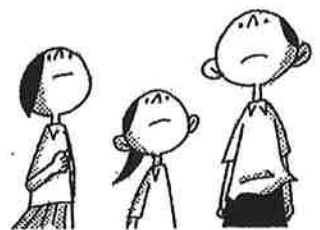
自分はまだ大きな地震にあった  
ことがなく、そのときの恐怖や  
不安はあまり分かりませんでした。

でも、今回三好先生のお話を聞いたり  
ドラマを見たりして、被害にあった人の  
気持ちやもし自分が同じ立ち場だった  
らと考えるとそのときの気持ちが分か  
たような気がしました。

阪神・淡路大震災。死者6434人。そのう  
ち、僕たちの住む明石では11人。

高速道路が横倒しに。

広がり続ける火災。こんな大きな災害、  
最初は想像もつきませんでした。しかし、これ  
が本当にあったと思うと、絶対に忘れてはい  
けないし、次いつくるか分からないので  
今のうちに準備をしておこうと思いました。



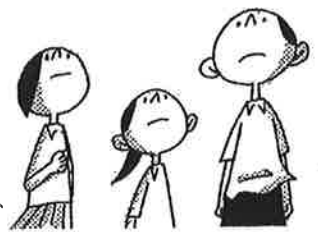


今回の会で、1/17 阪神・淡路大震災 について、また  
あらためて、くわしく深められた気がしました。1.17の日  
大きな地震(自然災害)がおきて、大変だったということは

往々とも伝えつづけていたけれど、神戸新聞という記者のかたから  
の視点で、この日について考えると、私、知らなかったこともたくさんあ  
りました。大きなことである、新聞を発行しつづけたというのはいまの  
歴史たなと感じました。三好さんが見てくださったドラマのおなものの中に  
当時の三好さんの立場である人が出演していました。ドラマでみると、  
なつらからなつらとうとは思えるけれど、本物に近い人が、ほんま体験をした  
いるんだなと思いました。命と向きあいなから、新聞に目をあける  
神戸新聞は、ずいぶんいいと思います。お、数々のおわけてしまった写真や三  
好さんの体験。とてもいい地震であったことを分ることか  
できました。6434人のうちの死者の中に、自分の近くの人がいるこ  
とは、本当につらかったと思います。そんな自分の周りの人がまだ生きて  
いるの、かもわからない状況で発行された新聞は、たくさん  
の記者さんの思いが、つづ、ついたんだらうと感じました。この会  
で、つづいたことかありました。今回、三好さんは「この記事、私が書きました。」

ということばを話していました。毎日の新聞の中に  
三好さんの記事はたくさんあるの、かもしねないです。  
1つ1つの記事に、1つ1つの思いが、つづ、つづいてるの、だ  
らうと考えます。だから、神戸新聞が、伝えつづ、つづ

けて、いつ、ほしいです。



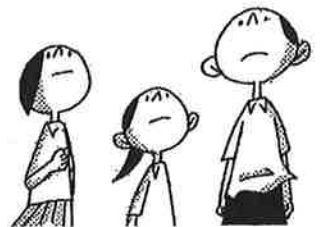


<sup>まだ</sup>私が生まれていながらに頃に、阪神・淡路大震災

という大きな震災が起きたことは、小学校の時からずっと、知らされてきました。私は、生まれた時から今までずっと、大きな震災にまきこまれたことは、一度もありません。阪神・淡路大震災の映像や、写真などを何回か見たことがあるけど、その場にいなくてもどれだけひどかったのかが分かりました。

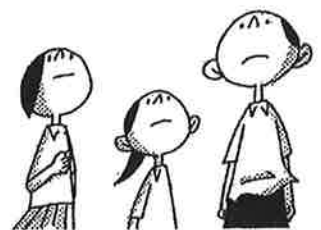
今日は、普段詳しく知ることのできない阪神・淡路大震災について、トライやるの時お世話になった三好さんに忙しい中だったの2時間だけの授業のために、来てもらいました。三好さんは、前のトライやるの時も今日も短い時間で、情報が深い事まで私達に分かりやすく、お知っていたてきました。

地震などの自然災害はいつ起こるか誰も予測することかできないので、身<sup>め</sup>めて家族と備えについて考えていきたいなと思いました。これから私が死ぬまでには一度は大きな震災にあうと思うので、それまでに自分達ができることを、精一杯やりたいです。





今日は、阪神・淡路各大地震のことを教  
下さってありがとうございました。僕は生まれてから  
大きな災害にあつたことがありません。それで大きな  
地震にもあつたことがなかつたので阪神・淡路各大地震  
はどんなにおもしろかつたか改めて実感しました。災害は  
いつ起つるか予測ができないので、今からでも家でできる災害  
への備えをもつていきたいです。大きな地震では南海トラフ地  
震が来ると言われています。南海トラフでは、大きな地震に  
加えて津波も来ると思うので、今からできることは、災害が  
起きたら落ちついて行動ができるようにして、自分の身は自  
分で守れるようにしたいです。大きな地震は、とつてける  
ロッカーや本が飛んでしまうので、何も身を守るものが近く  
にならたら豆腐を守るようにして、けがをしないように  
して、あわてずに落ちついて行動ができるようにしたいで  
きるように逃げる訓練をもつと大事にして取り組む  
ようにしたいです。今日は、震災のことをたくさん教えて  
いただいて本当にありがとうございました。

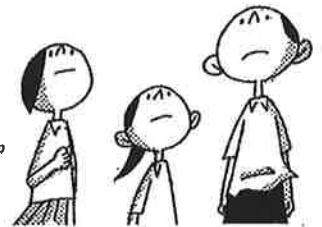




今日は、三好さんに来てもらい、阪神淡路大震災のお話をききました。今日のテレビや新聞でこの事がたくさんかかれていました。私は実際に体験をしていないので、その時の事は、話をきいたり、映像をみたりして知ることはできません。三好さんからその時の事をきいて、本当に怖いなあと思いました。阪神・淡路大震災では、たくさんの方が亡くなったり、たくさんの方が家がこわれたりしていました。こんな事になっていたらなんて想像が付きませんでした。いつ、どこで地震が起こるかわかりません。なので、避難訓練をしっかり行い、地震に備えられるようにしないと、思いました。今は新型コロナウイルスがはやっているので、地震がきて、避難することになったら、マスク、手洗い、ソーシャルディスタンスを気をつけないといいないので、本当に大変になると思います。それでも、落ちついて行動できるようにしたいです。今日は、

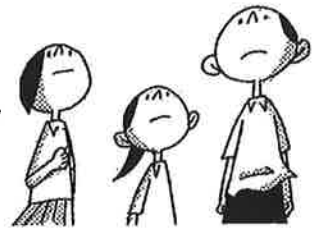
阪神・淡路大震災のことをたくさん

きくことができたので良かったです。





僕は今日の講習会を終えて、地震の恐しさ、火事、避難所のことなどを改めて学びました。映像を見ているときに、電気が爆発したりガラスが散ったり物が倒れたりなどで、本当にこんな事が起きたのかと信じられませんでした。僕は人生で3、4回ぐらいしか地震を経験していません。最も大きくて震度4です。その地震が起きたときは、頭がパニックになって「机の下に入れ」と言われるまでは何もできませんでした。震度4でこうなってしまうのに、阪神・淡路大震災は、震度7という想像できないほどの大きな地震でした。これから生きていくうえで、いつかは大きな地震を経験すると思います。僕の「命」に対する考えは「自分の命を守るのも大事だけど、周りの人たちと守り合うことも大事。」僕の経験上、地震のときに状況をすぐ判断して行動するのは難しいです。だから互いに守り合って、一人でも多くの命が助けられればいいなと思います。



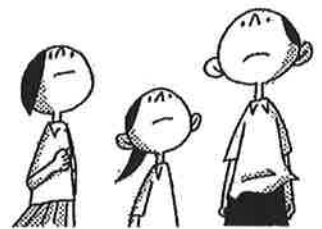




今回の講演会では、27年前の阪神・淡路  
大震災についてのお話を聞かせ  
いただきました。三姉さんのお話は、以前にも  
聞かせてもらった事があり、とても面白い話を  
していただいたことを覚えていいます。今回の  
阪神・淡路大震災の講演で、特に頭に  
残ったことは、地震などの災害についての  
知識を増やしておくことの大切さです。

今回の講演会で改めて、災害が起こった時に  
考えて行動か否のど、日と真から災害に対して  
興味を持つ自分から調べて、災害が起こった  
時に行動か否のどでは、全然結果が異なるので  
い業も、日と真から災害が実際に起きた時  
どうすればいいのかを考えて、生きていきた  
です。

今回の講演で貴重な話をしていただき  
ありがとうございました。





実際に震災を経験した人からの話を聞けるのはあまりなく、とても貴重な時間でした。本当にありがとうございました。実際に体験したからこそ、その時の恐怖が伝わってきて、話を聞いていても怖く感じました。震災をうけた人にはそれ以上の恐怖があったと思います。震災の怖さを感じたから、これから震災が起きた時のために今から出来ることをやっていこうと思います。最近では火山のふん火があって、津波が予想通りに被害をうけた場所もあってこれから何が起るか分からない状況で、当時の人は「あの怖さをまた感じたいわけにはいけないかもしれない」とか思っていたから今まで過ぎしてきた気持ちも少しだけ分かる気がします。震災のことをもっと重く受け止めて、その思いを伝えていくのも大事なかなと思います。

